

シラバス参照

科目名	地域連携 I
配当年次	1年次
開講期間	前期
単位数	2
担当教員	藤縄 善朗(フジナワ ヨシロウ)
期間・曜日・時限・教室	前期 火曜日 2時限 22-303

※	
授業の目的・目標	<p>1. 授業の概要 この授業はまちづくりに関わる演習の入門レベルです。城西大学周辺地域の現状と課題をデータ等の資料に基づき把握し、その構造的背景を探るとともに、必要に応じて実習(ケーススタディ)を通じて地域の自治体や地域社会と接触し地域を体感していきます。</p> <p>・オンライン授業の場合 オンライン授業ツールTeamsを用いたリアルタイムの授業を行います。自宅でオフィスソフトを用いて課題作成を行ってまいります。従って、自宅で自由に使えることのできるPC等(iPadなどのタブレットも可)を所持していることを推奨します。</p> <p>・対面授業の場合 大学の普通教室で授業を行い、必要に応じてまちづくりの現場に参加します。ただし、自宅での準備学習等のために、自宅で利用できるPC等を所持していることを推奨します。</p> <p>2. 授業の目的 地域の現状と課題を知り地域の人々との交流を図ることで、学生が地域社会により深く関心を持てるようにします。</p> <p>3. 学習成果 前に踏み出す力(さまざまな事にチャレンジする力)と協力する力(仲間や友人と一緒に目標に向かって協力する力)の獲得。</p> <p>4. 授業の到達目標 社会の多様性に配慮して主体的かつ協同的に実社会で貢献できる能力を身につけること。</p> <p>5. 実務経験と授業内容との関連 鶴ヶ島市長としての実務経験を踏まえて、周辺自治体の状況、地域のまちづくりの取組状況等を把握し、現場へ出向き様々な体験をします。</p>
準備学習等の指示	<p>講義初日に配布する講義スケジュールに基づいて、必要な予習をしてください。定期的にTeamsに課題をアップしますので、調べ学習を行ってください。</p> <p>また講義の都度配布する資料を復習に役立ててください。</p>
講義スケジュール	<p>地域のまちづくりの現場をフィールドワークして、最終的に課題解決に向けた提案をしてみる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私たちはどんな時代に生きているか 戦後の高度経済成長期からバブル経済崩壊を経て景気後退期へと移行する日本経済の状況を、人口構成の推移と比較しながら日本の現状を理解することができるようになる。 2. 城西大学周辺地域(郊外)の形成 城西大学周辺地域(郊外)がどのような経緯で形成されてきたかを知ることができるようになる。 3. 城西大学周辺の自治体の状況について① 城西大学周辺の自治体の状況をデータ等資料から分析し実情を理解することができるようになる。 4. 城西大学周辺の自治体の状況について② 城西大学周辺の自治体の状況をデータ等資料から分析し実情を理解することができるようになる。 5. 城西大学周辺の自治体の状況について③ 城西大学周辺の自治体の状況をデータ等資料から分析し実情を理解することができるようになる。 6. 国・県・市町村の役割について 地域づくりにおいて国・県・市町村の役割分担がどのようになされているかを理解することができるようになる。 7. 国による地方振興策について 国が実施してきた地域政策の歴史・手法・制度を理解することができるようになる。 8. 県による地方振興策について 埼玉県が実施してきた市町村の振興策に関する歴史の変遷とその効果について理解できるようになる。 9. 城西大学近隣地域の観光について① 城西大学近隣地域の観光地について理解できるようになる。 10. 城西大学近隣地域の観光について② 城西大学近隣地域の観光地について理解できるようになる。 11. 地域のまちづくりの取り組みを知る① 城西大学近隣の自治会のまちづくりの現場を訪れる。 12. 地域のまちづくりの取り組みを知る② 城西大学近隣の自治会のまちづくりの現場の声を聴く。 13. 地域のまちづくりの取り組みを知る③ 城西大学近隣の自治会のまちづくりの取り組みについてディスカッションする。

	<p>14. 地域のまちづくりの取り組みを知る④ 城西大学近隣の自治会のまちづくりに具体的に提案できるようになる。</p> <p>15回 前期講義のまとめと試験</p>
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業の場合 PowerPointの記載による ・対面授業の場合 プリントを配布する
参考文献	坂戸市総合振興計画 基本構想・後期基本計画
授業の方法	講義50% 演習30% 実習20%
成績評価方法	<p>1. 評価方法 発表、レポート、期末試験 レポートはTeamsの課題を使用して評価をフィードバックとして記す。期末テストでは評価をそれぞれ送付する。</p> <p>2. 割合 30:30:40</p> <p>3. 評価基準 それぞれ70%</p>
オフィスアワー	年度初めに発表する
居室	13号館6階 13-619
ホームページ	
その他特記事項	<p>地域では様々な活動が展開されています。それらの意義と楽しさを体感するために、前期はまちづくりの現場に向きます。 なお、欠席時数が4回を超えると単位の認定が難しくなります。欠席する場合には必ず前もって欠席届を提出してください。</p>
添付ファイル	